



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 兵機海運株式会社
 コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大東 洋治
 (氏名) 田中 康博

上場取引所 大
 TEL 078-940-2351

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,877	4.2	123	△17.4	47	△21.0	37	△3.4
23年3月期第3四半期	9,482	13.6	149	—	60	—	39	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △39百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3.18	—
23年3月期第3四半期	3.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,458		1,606			12.9
23年3月期	12,878		1,669			13.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,606百万円 23年3月期 1,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期の配当金額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	6.5	200	24.2	100	86.5	80	76.8	6.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	12,240,000 株	23年3月期	12,240,000 株
24年3月期3Q	302,022 株	23年3月期	301,071 株
24年3月期3Q	11,938,381 株	23年3月期3Q	11,940,024 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後に大きく落ち込んだ後、サプライチェーンの復旧に伴い、夏場にかけて持ち直しましたが、欧州債務危機の影響による世界景気の減速や、歴史的な円高やタイの大規模洪水の影響が重なり、年末にかけて回復の動きは鈍化したままで推移しました。

このような環境の下、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、総合物流業者として社会的貢献を目的として営業展開を行いました。その結果、事業別の業績は以下のとおりであります。

内航事業では、主要取扱品目である鋼材輸送において、期初の震災の影響、夏場の大型台風の影響、さらには円高による安価な外国製品の流入で国内鉄鋼メーカーが減産を行ったことにより、海上輸送全体が低調な動きで、売上高4,236百万円（前年同期比5.3%増）となりました。また、長期にわたる厳しい内航市況ではありますが、船腹維持の観点から傭船契約を見直したことで原価が増加し、営業利益91百万円（前年同期比54.9%減）を計上いたしました。

外航事業にありましては、円高進行など非常に厳しい近海マーケットの状況が続くなか、安定した長期輸送の契約獲得を喫緊の課題とし、東南アジア各地域の顧客開拓を進めてまいりました。そのなかで、定期ドックによる運航数の減少と所有船舶1隻の裸傭船化による売上の減少もありましたが、危険物積載のための改造工事による取扱貨物の多様化が進み、運航効率と収支改善が図られ、その影響も最小限にとどまりました。その結果、売上高880百万円（前年同期比1.7%減）、営業損失111百万円（前年同期は189百万円の営業損失）を計上し、収益面の改善を図ることができました。

港運事業では、急激な円の高止まりが景気回復にブレーキをかけ、円高メリットを享受できるだけの内需拡大に至らないという状況が続きましたが、輸入雑貨、食品類の底堅い取扱と、神戸物流センターの順調な稼働が寄与したこともあり、売上高は微増ながら3,902百万円（前年同期比2.3%増）、しかし、人件費等の管理経費の増加を賄いきれず、営業利益145百万円（前年同期比21.1%減）を計上いたしました。

倉庫事業では、厳しい港湾倉庫の状況が続くなか、荷主要望に細やかに対応できる体制を整えると共に、神戸物流センターにあっては、経営資源の集中による効率化を着実に進めてまいりました。その結果、売上高850百万円（前年同期比14.7%増）、営業損失1百万円（前年同期は48百万円の営業損失）を計上し、当部門においても収益面の改善を進めることができました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高9,877百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益123百万円（前年同期比17.4%減）、経常利益47百万円（前年同期比21.0%減）、特別損失として貸倒引当金繰入額8百万円を計上いたしましたので、四半期純利益は37百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態は、総資産12,458百万円となり、前連結会計年度末と比較して420百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は3,516百万円となり、前連結会計年度末と比較して83百万円減少いたしました。これは主に現金・預金38百万円、受取手形37百万円等が増加したことに対して、未収消費税等106百万円等が減少したことによるものであります。固定資産は8,941百万円となり、前連結会計年度末と比較して336百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産の新規取得92百万円等に対して、減価償却329百万円、投資有価証券が時価の下落等により115百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部では、流動負債は5,417百万円となり、前連結会計年度末と比較して214百万円減少いたしました。これは主に未払消費税44百万円の増加などに対して、短期借入金237百万円、買掛金41百万円、未払金44百万円等が減少したことによるものであります。固定負債は5,433百万円となり、前連結会計年度末と比較して141百万円減少いたしました。これは主に長期借入金148百万円等が減少したことによるものであります。

純資産の部は、1,606百万円となり、前連結会計年度末と比較して63百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金62百万円等が減少したことによるものであります。

当第3四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ38百万円増加し1,521百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,483	1,521
受取手形及び売掛金	1,623	1,640
原材料及び貯蔵品	46	48
前払費用	28	44
その他	418	271
貸倒引当金	△2	△10
流動資産合計	3,599	3,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	4,462	4,462
減価償却累計額	△1,406	△1,542
建物及び建物付属設備（純額）	3,055	2,920
船舶	3,656	3,729
減価償却累計額	△1,134	△1,304
船舶（純額）	2,521	2,424
土地	1,623	1,623
その他	438	454
減価償却累計額	△303	△324
その他（純額）	135	130
有形固定資産合計	7,335	7,098
無形固定資産		
その他	18	18
無形固定資産合計	18	18
投資その他の資産		
投資有価証券	942	830
その他	1,030	1,048
貸倒引当金	△48	△54
投資その他の資産合計	1,924	1,824
固定資産合計	9,278	8,941
資産合計	12,878	12,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,189	1,164
短期借入金	4,307	4,070
未払法人税等	5	43
賞与引当金	3	0
その他	126	138
流動負債合計	5,632	5,417
固定負債		
長期借入金	4,938	4,789
退職給付引当金	242	240
債務保証損失引当金	174	174
船舶修繕引当金	74	57
その他	145	171
固定負債合計	5,575	5,433
負債合計	11,208	10,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	1,024	1,038
自己株式	△76	△76
株主資本合計	1,593	1,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146	84
繰延ヘッジ損益	△70	△85
その他の包括利益累計額合計	76	△0
純資産合計	1,669	1,606
負債純資産合計	12,878	12,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	9,482	9,877
売上原価	8,282	8,642
売上総利益	1,199	1,234
販売費及び一般管理費	1,050	1,111
営業利益	149	123
営業外収益		
受取利息	11	19
受取配当金	17	15
持分法による投資利益	15	3
その他	15	17
営業外収益合計	60	55
営業外費用		
支払利息	135	117
その他	14	14
営業外費用合計	149	131
経常利益	60	47
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	8
投資有価証券評価損	6	—
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	0	—
特別損失合計	7	8
税金等調整前四半期純利益	53	39
法人税等	13	1
少数株主損益調整前四半期純利益	39	37
少数株主利益	—	—
四半期純利益	39	37

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39	37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	△63
繰延ヘッジ損益	△8	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△128	△77
四半期包括利益	△88	△39
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88	△39
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。